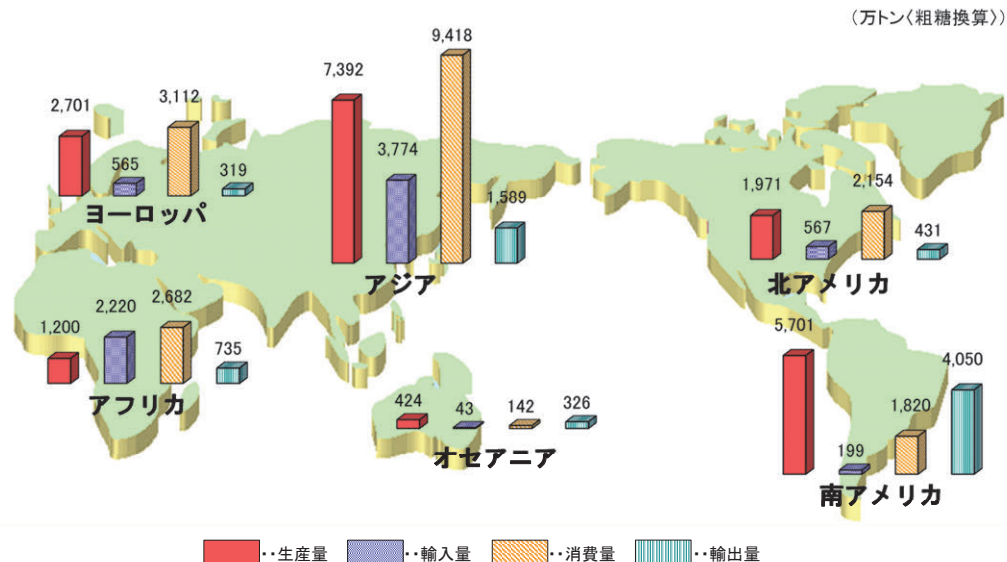




1 世界の砂糖需給（2026年9月時点予測）

図1 絵で見る世界の地域別砂糖需給（2026/27年度予測値）



資料：英国の民間調査会社GlobalData UK Ltd.「Quarterly Statistical Update, September 2026」を基に農畜産業振興機構作成

注1：年度は、国際砂糖年度（10月～翌9月）。

注2：ヨーロッパには、ロシアを含む。

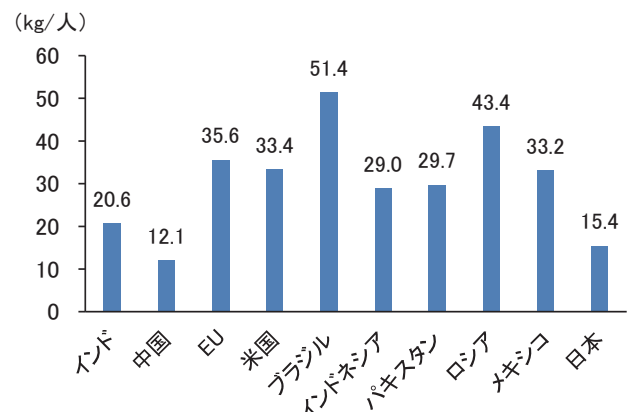
GlobalData UK Ltd.による2026年9月時点の予測によると（以下、特段の断りがない限り同予測に基づく記述）、2026/27砂糖年度（10月～翌9月）の世界の砂糖生産量は、1億9389万トン（粗糖換算（以下、特段の断りがない限り砂糖に関する数量は粗糖換算）、前年度比0.3%増）と前年度並みが見込まれている（表）。生産量第1位のブラジルや同第4位のEUでは減産が見込まれている一方、同第2位のインドでは増産が見込まれている。

また、同年度の世界の砂糖消費量は、1億9327万トン（同0.8%増）とわずかな増加が見込まれている。消費量第2位の中国および同第3位のEUは前年度並みが見込まれているが、同第1位のインドはわずかな増加が見込まれている。

この結果、期末在庫率は前年度から0.5ポイント減少し、43.6%と見込まれている。

地域別の砂糖需給の予測値は、図1の通りである。また、主要消費国・地域の1人当たり砂糖消費量は図2の通りである。

図2 1人当たり砂糖消費量（2026/27年度）



資料：GlobalData UK Ltd.「Quarterly Statistical Update, September 2026」

注1：年度は、各国の砂糖年度。

注2：EUには、英国を含む。

注3：主要消費国・地域上位9カ国・地域および日本を表示。

表 世界の砂糖需給の推移

(単位：万トン〈粗糖換算〉、%)

年 度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1996/97	5,538	12,645	3,436	11,826	3,727	6,066	51.3
2001/02	6,876	13,707	4,245	13,724	4,460	6,644	48.4
2006/07	6,450	16,522	4,720	15,551	4,985	7,156	46.0
2011/12	5,826	17,659	5,699	16,929	5,898	6,356	37.5
2016/17	7,813	17,959	6,874	17,904	7,077	7,665	42.8
2021/22	8,465	18,639	7,004	18,929	7,122	8,057	42.6
2022/23	8,057	19,067	7,150	19,094	7,166	8,014	42.0
2023/24	8,014	19,541	7,661	19,021	7,708	8,488	44.6
2024/25	8,488	18,919	7,301	18,947	7,384	8,376	44.2
2025/26	8,376	19,325	7,187	19,179	7,255	8,454	44.1
2026/27 (2026年9月予測)	8,454	19,389	7,368	19,327	7,450	8,434	43.6

資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, September 2026」

注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。

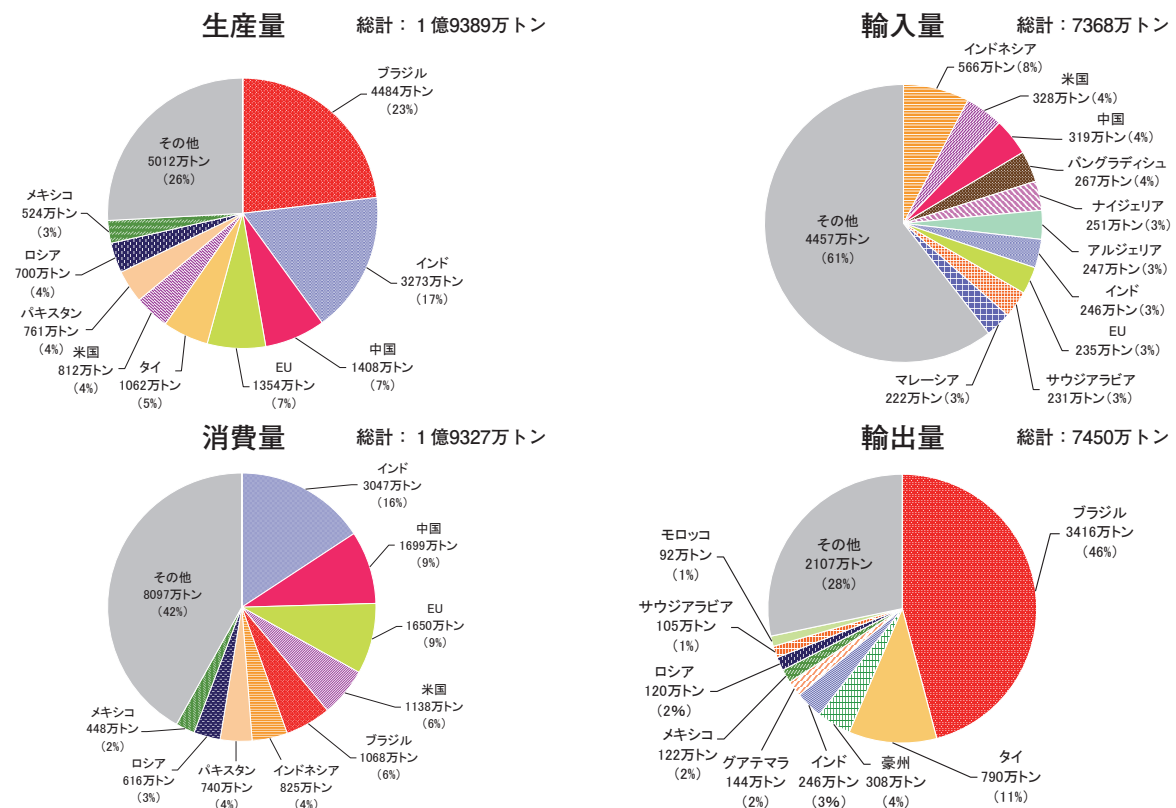
注2：2024/25年度および2025/26年度の数値は推定値、2026/27年度の数値は予測値。

注3：期末在庫量は（期首在庫量＋生産量＋輸入量－消費量－輸出量）。

注4：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

2 主要国の砂糖需給（2026年9月時点予測）

図 主要国の生産量、輸入量、消費量、輸出量（2026/27年度）



資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, September 2026」

注1：年度は、各国の砂糖年度。

注2：各数量においては、その主要国とその他を表示。カッコ内はシェア (%)

注3：「その他」は、総計から主要国の計を差し引いた数値。

注4：端数処理の関係で内訳の合計が総計と一致しないまたは100%にならない場合がある。

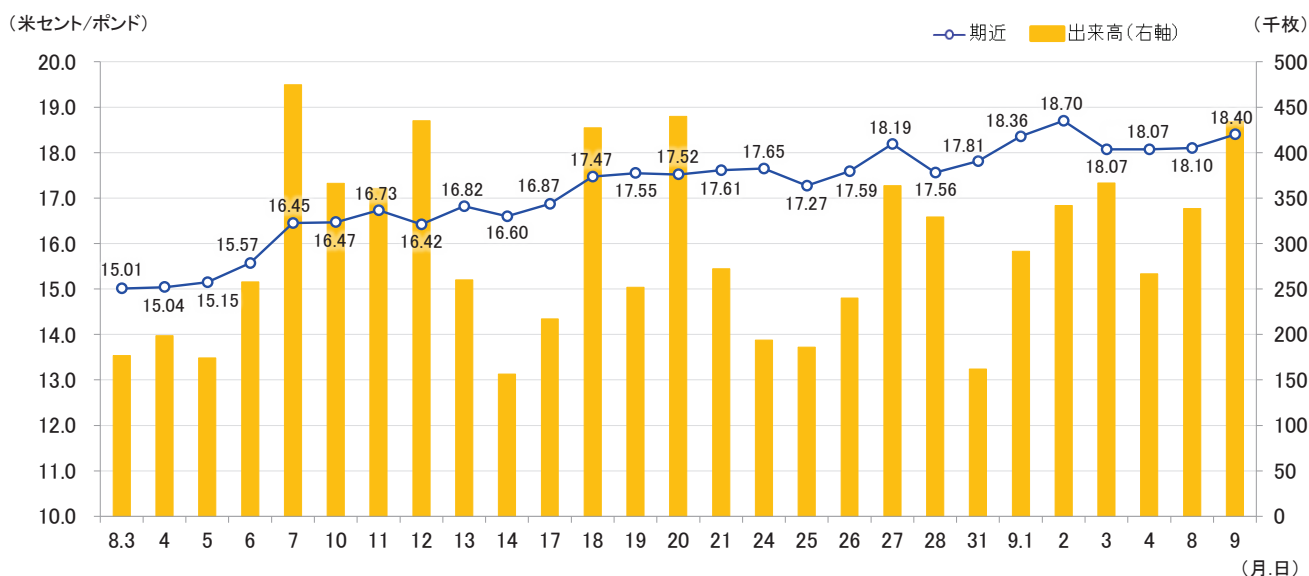
注5：EUは、英国を除く27カ国。

3 国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き（8/3～9/9）

～世界的な砂糖供給不足の見通しが価格を下支えした結果、1ポンド当たり18セント台まで上昇～

図 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所

注：期近10月限の値。

2026年8月のニューヨーク粗糖先物相場（10月限）の推移を見ると、3日は世界的な砂糖供給不足の見通しにより、1ポンド当たり15.01セント（注1）と前取引日から上昇した。4日以降は世界的な砂糖供給不足の見通しにより急騰し、11日は同16.73セントをつけた。12日以降は一時的な下落があったものの、世界的な砂糖供給不足の見通しが価格を下支えし、上昇傾向となった。さらに、20日以降もインドにおける砂糖の輸入関税の引き下げや、EUの砂糖生産予測が前年度比2割程度の減少見通しとなったことなどから上昇傾向が継続し、31日は同17.81セントをつけた。

9月に入ると、2日までは世界的な砂糖供給不足の見通しにより引き続き上昇したが、3日以降はイ

ンドの砂糖輸入量が予想を下回るとの見通しが下落圧力となり、8日は同18.10セントをつけた。9日は原油高（注2）により同18.40セントと上昇した。

（注1）1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ドルの100分の1。

（注2）一般に、原油価格が上昇すると、石油の代替燃料であるバイオエタノールの需要も増加する。バイオエタノールの需要増加により、その原料作物（サトウキビ、てん菜など）のバイオエタノール生産への仕向けが増える一方、それらから生産される食品（サトウキビの場合は砂糖）の生産・供給が減ると想定される。食品用途仕向けの場合、小さくなるほど需給がひっ迫し、当該食品の価格を押し上げる方向に作用する。

4 世界の砂糖需給に影響を及ぼす各国の動向（2026年9月時点予測）

以下、特段の断りがない限りGlobalData UK Ltd. による予測に基づく記述であり、砂糖に関する数量は粗糖換算である。

1 トン当たりの輸出価格はFOB価格（Free on Board：貨物が輸出国の船上に置かれた時点までの費用を含めた価格）であり、1 トン当たりの輸入価格はCIF価格（Cost Insurance and Freight：保険料・運賃込みの価格。関税額等は含まれていない）である。

ブラジル

2026/27年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：899万ha（前年度比1.0%減）
生産量：6億9600万トン（同4.4%増）

【砂糖（甘しゅ糖）】

生産量：4484万トン（同4.1%減）
輸出量：3416万トン（同6.5%減）

26/27年度の砂糖生産量はやや減少見込み

2026/27年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、899万ヘクタール（前年度比1.0%減）と前年度からわずかな減少が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、豪雨による収穫遅延が発生しているものの、単収増加が予測されることから、6億9600万トン（同4.4%増）とやや増加すると見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの増産が予測されるものの、ATR^{（注）}および砂糖への仕向け割合が前年度を下回って推移していることから、4484万トン（同4.1%減）とやや減少が見込まれている。なお、エ

タノールへの仕向け割合は、前年度を上回って推移している。砂糖輸出量は、3416万トン（同6.5%減）とかなりの程度減少すると見込まれているが、引き続き国際市場でのブラジル産砂糖に対する堅調な需要が見込まれている。現地報道によると、同国のエネルギー政策諮問委員会（CNPE）は7月14日、ガソリンへのエタノール混合率を30%から32%へ引き上げることを承認した。この引き上げは8月1日から適用されている。

（注）1 トン当たりの平均回収糖分。ポルトガル語でAçúcar Total Recuperável（総回収可能糖量）の略。

表 ブラジルの砂糖需給の推移

（単位：万ha、万トン、%）

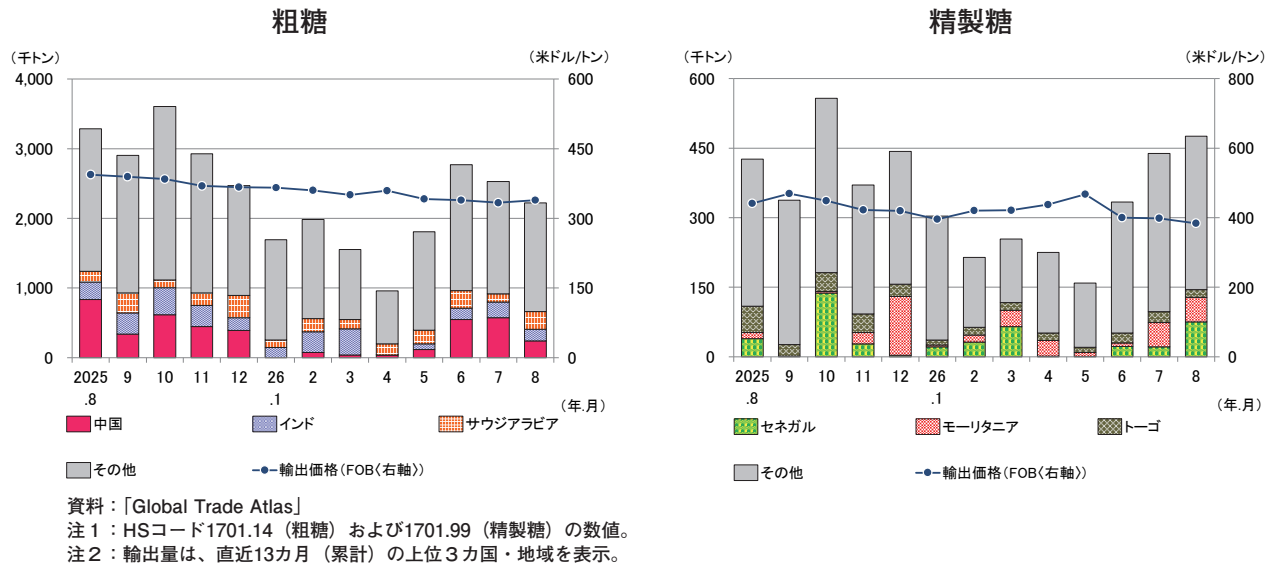
年度		2023/24	24/25	25/26	26/27 （8月予測）	26/27 （9月予測）	前年度比 （増減率）
サトウキビ収穫面積		841	884	908	915	899	▲ 1.0
サトウキビ生産量		71,313	67,868	66,675	69,970	69,600	4.4
砂糖	生産量	4,932	4,719	4,675	4,569	4,484	▲ 4.1
	輸入量	0.5	0.4	0.3	0.4	0.4	25.3
	消費量	1,097	1,075	1,068	1,068	1,068	0.0
	輸出量	3,739	3,618	3,652	3,501	3,416	▲ 6.5
	期末在庫量	320	347	302	303	302	0.1
	期末在庫率	6.6	7.4	6.4	6.6	6.7	0.3ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2026」

注1：2024/25年度および25/26年度の数値は推定値、26/27年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) ブラジルの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移



インド

2026/27年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：573万ha（前年度比0.4%減）
 生産量：4億6180万トン（同2.5%減）

【砂糖（甘しゅ糖）】

生産量：3273万トン（同8.8%増）
 輸出量：246万トン（同26.1%減）

26/27年度の砂糖輸出量は大幅な減少見込み

2026/27年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、573万ヘクタール（前年度比0.4%減）とわずかな減少が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、モンスーン期の降雨不足により、9月上旬時点の累積降水量が平年を下回っていることから、4億6180万トン（同2.5%減）とわずかな減少が見込まれている。

砂糖生産量は、同国政府が国内市場向けの砂糖供給を優先し、砂糖への仕向け割合の増加が予測されることから、3273万トン（同8.8%増）とかなりの程度増加が見込まれている。一方、砂糖輸出量は、当面の間は国内市場向けの在庫確保を優先するため、246万トン（同26.1%減）と大幅な減少が見込まれている。

表 インドの砂糖需給の推移

(単位：万ha、万トン、%)

年度	2023/24	24/25	25/26	26/27 (9月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	589	570	575	573	▲ 0.4
サトウキビ生産量	48,656	44,671	47,377	46,180	▲ 2.5
砂糖	生産量	3,446	2,797	3,273	8.8
	輸入量	313	280	246	▲ 24.5
	消費量	3,099	3,002	3,047	0.7
	輸出量	438	407	246	▲ 26.1
	期末在庫量	851	519	723	45.5
	期末在庫率	24.1	15.2	14.8	21.9
					7.2ポイント増

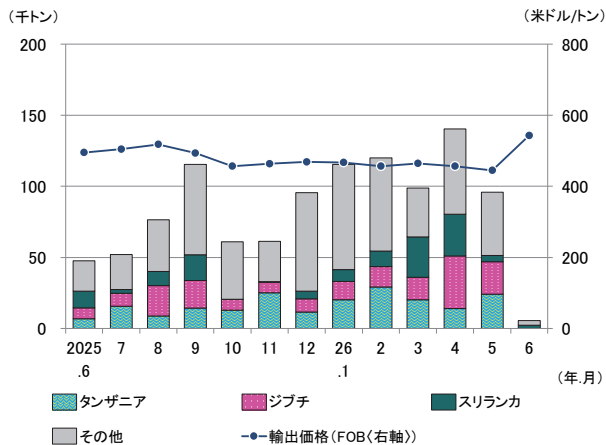
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2026」

注1：2024/25年度および25/26年度の数値は推定値、26/27年度の数値は予測値。

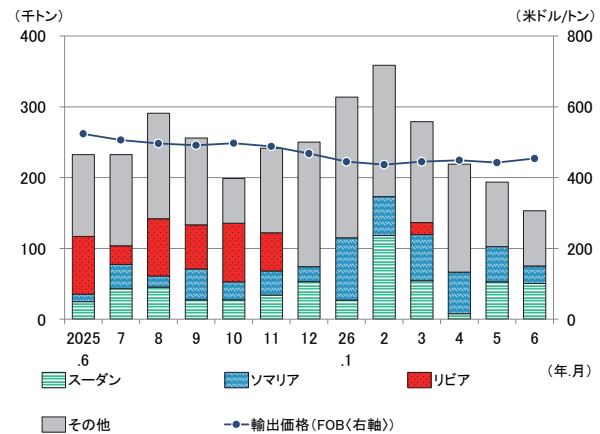
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) インドの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移

粗糖



精製糖



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

中国

2026/27年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：125万ha（前年度比0.2%増）

生産量：9089万トン（同0.5%増）

【てん菜】

収穫面積：19万ha（同20.9%減）

生産量：1075万トン（同16.1%減）

【砂糖（甘しゅ糖およびてん菜糖）】

生産量：1408万トン（同0.4%増）

輸入量：319万トン（同39.6%減）

26/27年度の砂糖輸入量は大幅な減少見込み

2026/27年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、125万ヘクタール（前年度比0.2%増）と前年度並みが見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、適度な降水量と高収量品種の普及により、

9089万トン（同0.5%増）とわずかな増加が見込まれている。

てん菜収穫面積は、主産地である内モンゴル自治区における作付面積の減少などを背景に19万ヘクタール（同20.9%減）と大幅な減少が見込まれて

いる。てん菜生産量は、作付面積の減少により、1075万トン（同16.1%減）と大幅な減少が見込まれている。

砂糖生産量は、てん菜糖の減産以上に^{かんしゃとう}甘蔗糖の増産が見込まれているため、1408万トン（同0.4%

増）とわずかな増加が見込まれている。砂糖輸入量は、引き続き国内の需給ギャップを埋めるために一定の輸入が予想されるが、国内生産の増加見通しから、319万トン（同39.6%減）と大幅な減少が見込まれている。

表 中国の砂糖需給の推移

(単位：万ha、万トン、%)

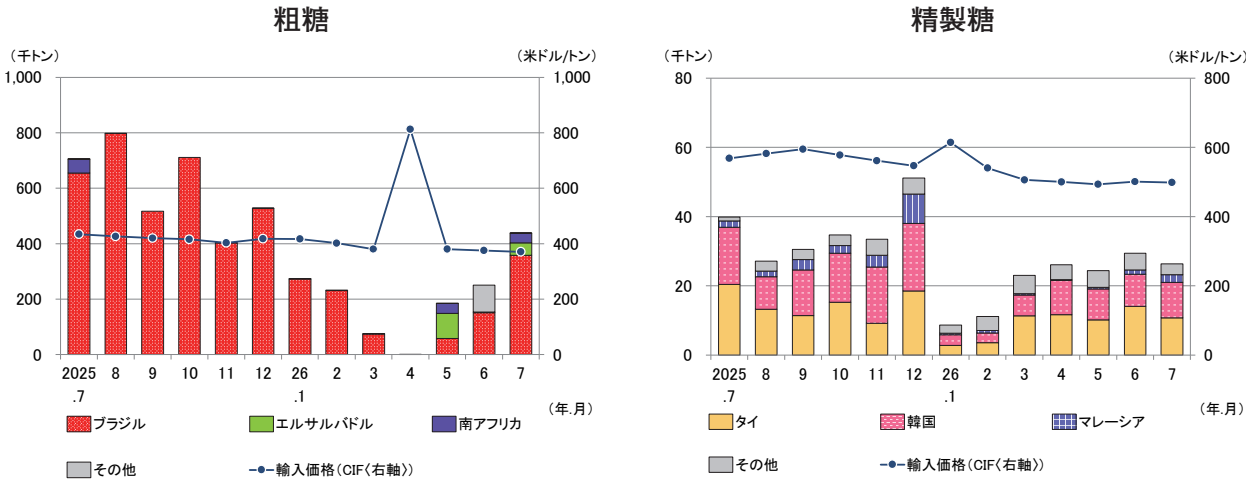
年度		2022/23	23/24	24/25	26/27 (9月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積		110	119	125	125	0.2
サトウキビ生産量		7,313	7,354	9,041	9,089	0.5
てん菜収穫面積		17	22	23	19	▲ 20.9
てん菜生産量		894	1,346	1,282	1,075	▲ 16.1
砂糖	生産量	1,076	1,207	1,402	1,408	0.4
	輸入量	740	647	528	319	▲ 39.6
	消費量	1,674	1,692	1,696	1,699	0.2
	輸出量	18	17	13	14	9.6
	期末在庫量	1,543	1,688	1,910	1,924	0.7
	期末在庫率	91.2	98.7	111.8	112.3	0.5ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2026」

注1：2024/25年度および25/26年度の数値は推定値、26/27年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 中国の砂糖（粗糖・精製糖別）の輸入量および輸入価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」
注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。
注2：輸入量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。
注3：26年4月の粗糖輸入量は、千トン未満。

E U

2026/27年度（10月～翌9月）の見通し

【てん菜】

収穫面積：126万ha（前年度比9.8%減）

生産量：8968万トン（同19.6%減）

【砂糖（てん菜糖）】

生産量：1354万トン（同22.0%減）

輸入量：235万トン（同18.7%増）

26/27年度の砂糖生産量は大幅な減少見込み

2026/27年度（10月～翌9月）のてん菜収穫面積は、生産量上位国であるドイツを中心に減少が見込まれることから、126万ヘクタール（前年度比9.8%減）とかなりの程度減少すると見込まれている（表）。てん菜生産量は、特にビートベルト^(注)の北西部において降水量が極端に少ないことに加え、気温が平年を上回っていることから、8968万トン（同19.6%減）と大幅な減少が見込まれている。また、今後降水量が回復した場合でも、高温状態が継続すれば、病害発生リスクが高まるとの指摘もある。

る。

砂糖生産量は、高温・乾燥の影響が大きいフランスやドイツなどにおけるてん菜の収量予測が引き下げられたことにより、1354万トン（同22.0%減）と大幅な減少が見込まれている。砂糖輸入量は、砂糖の減産を背景に235万トン（同18.7%増）と大幅な増加が見込まれている。

（注）フランス北西部や英国南部からポーランドやリトアニアにかけて広がるてん菜栽培に適した地域のこと。「シュガーベルト」とも称される。

表 EUの砂糖需給の推移

（単位：万ha、万トン、%）

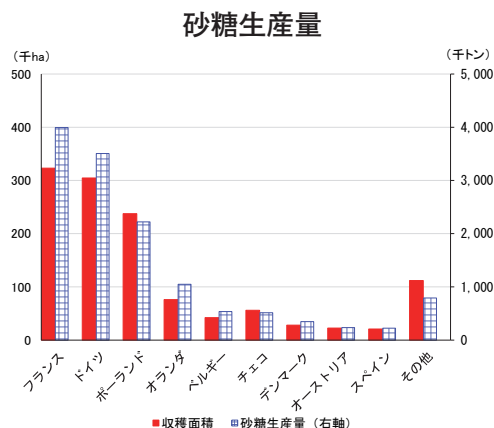
年度	2022/23	23/24	24/25	26/27 (9月予測)	前年度比 (増減率)
てん菜収穫面積	145	157	140	126	▲ 9.8
てん菜生産量	10,990	11,650	11,151	8,968	▲ 19.6
砂糖	生産量	1,626	1,708	1,354	▲ 22.0
	輸入量	220	150	235	18.7
	消費量	1,633	1,628	1,650	0.0
	輸出量	209	209	90	▲ 53.7
	期末在庫量	196	217	306	▲ 49.5
	期末在庫率	10.6	11.8	16.6	8.9

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2026」

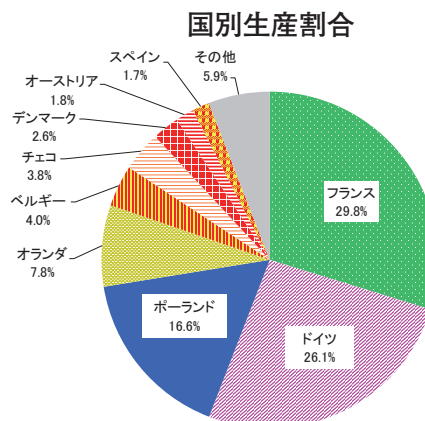
注1：2024/25年度および25/26年度の数値は推定値、26/27年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) EUの砂糖生産量および国別の生産割合の見通し (2026/27年度) (2026年8月時点)



資料：欧州委員会
注1：精製糖換算。
注2：数値は予測値。



資料：欧州委員会

5 日本の主要輸入先の動向 (2026年9月時点予測)

近年、日本の粗糖（甘しや糖・分みつ糖＜HSコード1701.14－110＞および甘しや糖・その他＜同1701.14－200＞の合計）の主要輸入先は、豪州およびタイである。2025年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が90.7%（前年比0.5ポイント増）、タイが9.3%（同0.4ポイント減）と、両国でほぼ全量を占めている（財務省「貿易統計」）。

豪 州

2026/27年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：35万ha（前年度比0.3%増）
生産量：2794万トン（同3.2%減）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：405万トン（同3.5%増）
輸出量：308万トン（同2.9%増）

26/27年度の砂糖輸出量はわずかな増加見込み

2026/27年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、35万ヘクタール（前年度比0.3%増）と前年度並みが見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、7月の降雨により平年よりも収穫作業が遅れているため、2794万トン（同3.2%減）とやや減少が見込まれている。なお、仮にエルニーニョ現象が発生し、気候が乾燥傾向となった場合のサトウキビ収量への影響については、現時点では不透明である。

砂糖生産量は、サトウキビの品質が良好でCCS^(注)が前年よりも向上していることから、405万トン（同3.5%増）とやや増加が見込まれている。砂糖輸出量は、砂糖の増産に加え、アジア地域を中心に引き続き堅調な需要が見込まれることから、308万トン（同2.9%増）とわずかな増加が見込まれている。

(注) Commercial Cane Sugar（可製糖率）の略。サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

表 豪州の砂糖需給の推移

(単位：万ha、万トン、%)

年度	2023/24	24/25	25/26	26/27 (8月予測)	26/27 (9月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	34	32	34	35	35	0.3
サトウキビ生産量	2,986	2,880	2,887	3,004	2,794	▲ 3.2
砂糖	生産量	413	391	407	405	3.5
	輸入量	1.0	1.4	1.0	1.0	69.9
	消費量	97	98	98	98	0.5
	輸出量	370	290	299	308	2.9
	期末在庫量	45	50	45	45	0.0
	期末在庫率	9.6	12.9	11.3	11.0	0.3ポイント減

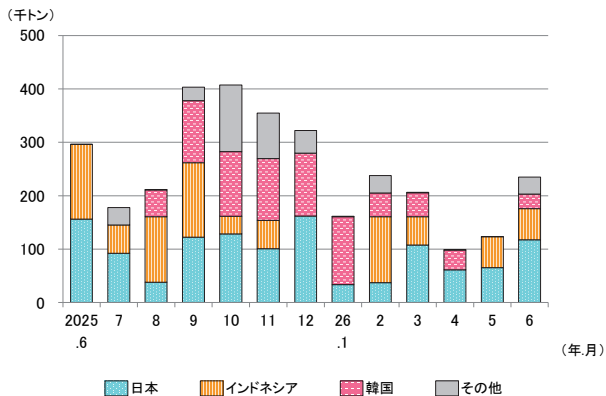
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2026」

注1：2024/25年度および25/26年度の数値は推定値、26/27年度の数値は予測値。

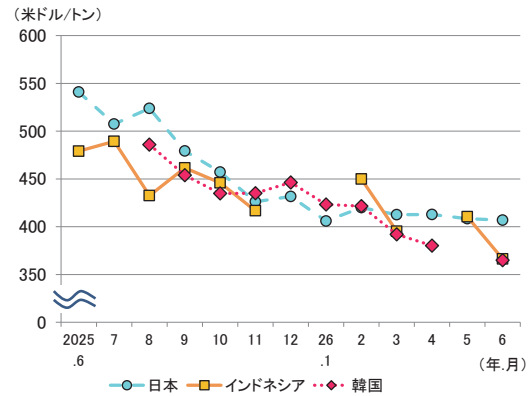
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 主要国の豪州産砂糖(粗糖)の輸入量および輸入価格の推移

輸入量



輸入価格 (CIF価格)



資料：輸入量はGlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2026」、輸入価格は「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14 (粗糖) の数値。

注2：直近13カ月(累計)の上位3カ国・地域とその他の輸入量を表示。

その他は上位3カ国・地域を除いた国・地域の合計。

ただし、GlobalData UK Ltd.の資料に掲載されている国・地域となる。

注3：豪州の輸出に関する月別の統計情報は公表されていないため、主要輸入国の月別の輸入に関する統計情報に基づき作成。

注4：韓国の25年6月、7月、26年5月の輸入量は実績なし。

注5：インドネシアの25年12月、26年1月、4月の輸入量は実績なし。

タイ

2026/27年度(10月～翌9月)の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：151万ha (前年度比4.0%減)

生産量：9100万トン (同14.0%減)

【砂糖(甘しゃ糖)】

生産量：1062万トン (同15.9%減)

輸出量：790万トン (同8.6%減)

26/27年度の砂糖輸出量はかなりの程度減少見込み

2026/27年度(10月～翌9月)のサトウキビ収穫面積は、151万ヘクタール(前年度比4.0%減)

とやや減少が見込まれている(表)。サトウキビ生産量は、26年1月以降の累積降水量が平年を下回るなど、乾燥した天候がサトウキビの生育不良を引き起こしていることから、9100万トン(同14.0%

減)とかなり大きな減少が見込まれている。

また、サトウキビ生産者は、1) 価格上昇に伴う肥料の購入意欲および使用量の減少、2) 燃料費の高騰に伴う機械収穫の経費増加、3) キャッサバ価格の上昇—といった問題に直面しており、27/28年度の作付面積に影響を及ぼす可能性が指摘されてい

る。

砂糖生産量は、サトウキビの減産により、1062万トン(同15.9%減)とかなり大きな減少が見込まれている。砂糖輸出量は、砂糖の減産を背景に790万トン(同8.6%減)とかなりの程度の減少が見込まれている。

表 タイの砂糖需給の推移

(単位: 万ha、万トン、%)

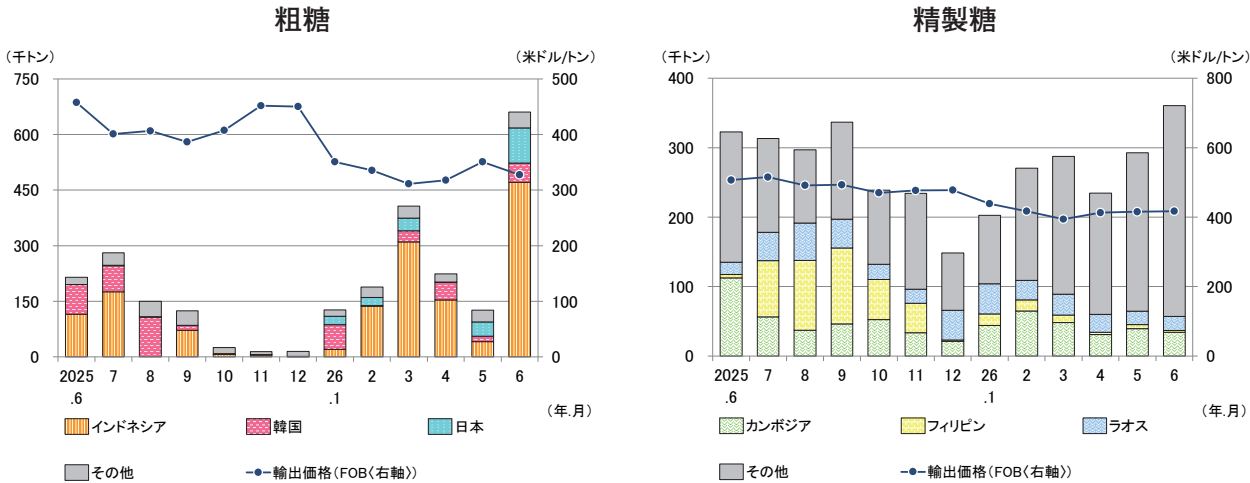
年度		2023/24	24/25	25/26	26/27 (9月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積		148	154	157	151	▲ 4.0
サトウキビ生産量		8,217	9,204	10,586	9,100	▲ 14.0
砂糖	生産量	932	1,058	1,263	1,062	▲ 15.9
	輸入量	25	36	2	2	0.0
	消費量	329	333	336	337	0.4
	輸出量	589	680	864	790	▲ 8.6
	期末在庫量	295	375	441	378	▲ 14.3
	期末在庫率	32.1	37.1	36.7	33.5	3.2ポイント減

資料: GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2026」

注1: 2024/25年度および25/26年度の数値は推定値、26/27年度の数値は予測値。

注2: 期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) タイの砂糖(粗糖・精製糖別)の輸出量および輸出価格の推移



資料: 「Global Trade Atlas」

注1: HSコード1701.14(粗糖)および1701.99(精製糖)の数値。

注2: 輸出量は、直近13カ月(累計)の上位3カ国・地域を表示。